

平成 30 年度 事業計画書

(平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日)

【公益目的事業 1 / 吉川英治賞の授与】

(1) 吉川英治文学賞の授与

生前吉川英治が国民文学に遺した偉業を記念して吉川英治文学賞を授与。

- ・最も優秀な文学作品を発表した作家を選ぶ。
- ・対象期間は平成 30 年 1 月 1 日より同年 12 月 31 日までとする。
- ・各文化機関及び関係文化人にアンケートを出し推薦をうける。
- ・選考委員会を設け、慎重審議のうえ決定する。
- ・賞牌及び副賞として、金参百万円を贈呈する。

(2) 吉川英治文庫賞の授与

優れた大衆シリーズ文学作品を発表した作家に吉川英治文庫賞を授与。

- ・吉川英治文庫賞にふさわしい大衆シリーズ作品を発表した作家を選ぶ。
- ・対象期間平成 29 年 12 月 1 日より平成 30 年 11 月 30 日までとする。
- ・出版社の代表者、識者、出版流通関係者等に選考委員を委嘱し文書で推薦をうける。
- ・選考委員会を設け、慎重審議のうえ決定する。
- ・賞牌及び副賞として、金百万円を贈呈する。

(3) 吉川英治文学新人賞の授与

最も将来性のある新人作家を選び吉川英治文学新人賞を授与。

- ・吉川英治文学新人賞にふさわしい小説を発表した新人作家を選ぶ。
- ・対象期間は平成 30 年 1 月 1 日より同年 12 月 31 日までとする。
- ・各文化機関及び関係文化人にアンケートを出し推薦をうける。
- ・選考委員会を設け、慎重審議のうえ決定する
- ・賞牌及び副賞として、金百万円を贈呈する。

(4) 吉川英治文化賞の授与

日本文化の発展のため讃えられるべき業績をあげながらも、報われることの少ない人、或いは団体を発掘賞揚し、文化賞を授与。

- ・各公共団体及び、関係文化人にアンケートを出し推薦をうける。
- ・選考委員会を設け、慎重審議のうえ決定する。
- ・該当者は 3 名以内（または団体）。賞牌及び副賞として、1 件金百万円を贈呈する。

尚、吉川英治文学賞、吉川英治文庫賞、吉川英治文学新人賞、吉川英治文化賞は「吉川英治賞」として、平成 31 年 4 月 11 日（木）帝国ホテルにて贈呈式を実施する。

【公益目的事業2 / 文学資料の保存、公開】

(5) 吉川英治記念館

故吉川英治が日本文化に及ぼした偉大な功績を記念して、近代文学に関する資料を収集保管し、かつ展示して一般の利用に供し文化の発展に寄与するため記念館を運営する。

■常設展

- ・常設展：「『各最終稿で見る吉川作品』展」(仮)

代表的な吉川作品の各最終回を取り上げ、そこに込められた吉川英治の想いなどを紹介。

■主催・協賛イベント

①4月21日(土)「第9回草思堂落語会」

文子夫人を偲ぶ落語会。落語家林家禽太夫。[公募・会費2千円]

②9月7日(金)英治忌の集い

英治の命日の集い、母屋他公開[一般告知、通常入館]

③10月27日(土)「吉川英治旧宅で聴く胡弓演奏会」(再)

胡弓演奏家酒井和嘉子と楊琴演奏家[公募・会費2千5百円]

④文学散歩[公募/各10名以上で実施]

○6月2日(土)[高円寺・落合方面]

○7月7日(土)[再企画/多磨墓地方面]

○12月1日(土)[再企画/青梅方面]

○31年2月2日(土)[再企画/向島方面]

⑤文学セミナー[公募/各10名以上で実施/13:30、於記念館ロビー]

○6月9・16・23日(土)(学芸員)

○7月14・21・28日(土)(前学芸員)

○12月8・15日(土)(外部学芸員)

○31年2月9・16日(土)(外部学芸員)

○31年3月23日(土)(館長)

⑥母屋公開[公募/各5名以上で実施/10:00、13:00]

○6月17・24日(日)

○7月15・22日(日)

○12月9・16日(日)

○31年2月10・17・24日(日)

⑦その他

■「思草堂だより」(館報)年2回刊(9月・3月)

■営繕関係 現在予定無。

【収益事業1 / 事務室等の賃貸事業について】

(6) 公益目的事業推進達成のための不動産賃貸事業（事務室、駐車場、広告板）。

- ・現在の居住者及び管理者で継続。

賃貸状況

- ・ビル所在地： 東京都文京区水道 2-9-2（地上8階地下1階）
- ・ビル竣工： 平成2年（築28年）
- ・事務室賃貸： キングレコードグループ（全室）継続
- ・駐車場： 同上（3台）継続
- ・広告塔： キングレコード（1件）継続

長期修繕計画について

- ・ビルの経年劣化及び設備機器等交換のため長期計画（4年）を実施。
期間： 平成30年度（6月下旬）から33年度。

以上

収支予算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科目	金額	備考
I 一般正味財産増減の部		
1 経常増減の部		
(1) 経常収益		
① 特定資産運用益	42,600	
② 事業収益		
文学資料ほか公開事業収益	1,806,500	
不動産貸付事業収益	47,962,465	
事業収益計	49,768,965	
③ 雑収益	651,100	
経常収益計	50,462,665	
(2) 経常費用		
① 事業費		
吉川英治賞事業費	27,500,000	
文学資料ほか公開事業費	24,340,000	
不動産貸付事業費	17,334,000	
事業費計	69,174,000	
② 管理費	944,000	
経常費用計	70,118,000	
当期経常増減額	△ 19,655,335	
2 経常外増減の部		
(1) 経常外収益	6,044,328	
(2) 経常外費用	0	
当期経常外増減額	6,044,328	
法人税・住民税及び事業税	70,000	
他会計振替額	0	
当期一般正味財産増減額	△ 13,681,007	
一般正味財産期首残高	1,034,168,563	
一般正味財産期末残高	1,020,487,556	
II 指定正味財産増減の部		
一般正味財産への振替額	△ 6,044,328	
当期指定正味財産増減額	△ 6,044,328	
指定正味財産期首残高	152,026,312	
指定正味財産期末残高	145,981,984	
III 正味財産期末残高	1,166,469,540	